

戦略重点科学技術(7)

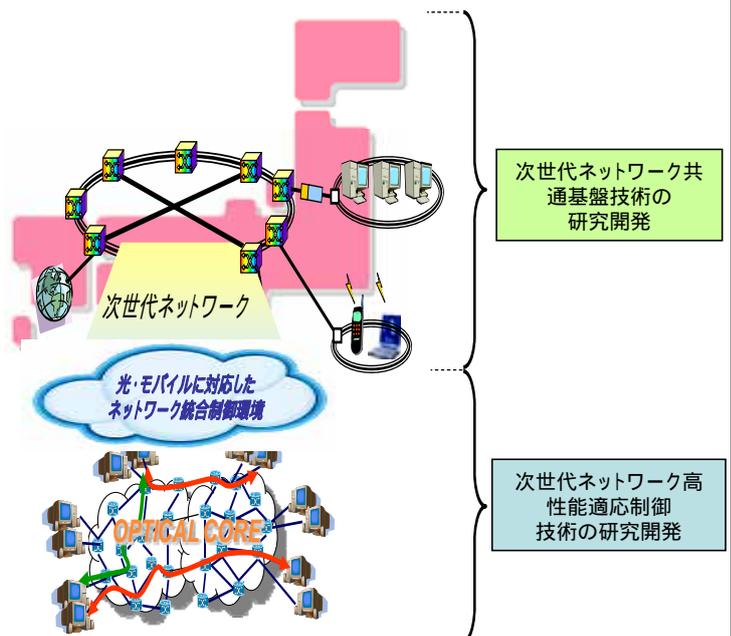
大量の情報を瞬時に伝え
誰もが便利・快適に利用できる
次世代ネットワーク技術

戦略重点科学技術(7) 大量の情報を瞬時に伝え 誰もが便利・快適に利用できる次世代ネットワーク技術

施策名: 次世代ネットワーク基盤技術に関する研究開発 【総務省】

平成22年度対象予算案: 2,537百万円
(平成21年度対象予算: 2,617百万円)
実施期間: 平成18~22年度
(予算総額: 19,800百万円)

ユビキタスネットワーク社会の基盤となる次世代ネットワークの国際展開を、国際標準化を通じてリードしていくため、以下の高度化技術の研究開発を総合的に実施する。
次世代ネットワーク共通基盤技術の研究開発
次世代ネットワーク高性能適応制御技術の研究開発



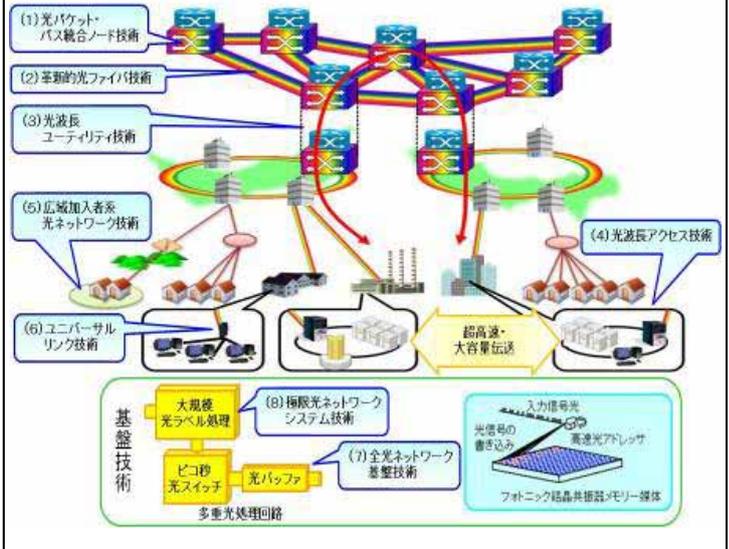
施策名: フォトニックネットワーク技術に関する研究開発 【総務省】

平成22年度対象予算案: 3,733百万円
 (平成21年度対象予算: 3,602百万円)
 実施期間: 平成18~26年度
 (予算総額: 32,300百万円)

多様化・増大しつづける通信需要に対応し、ネットワークの大容量化・高機能化・省電力化を図るとともに、将来のオール光通信実現に向けた基盤技術の確立を目標として、以下の課題につき、戦略的に研究開発を行う。

- (1)光パケット・パス統合ノード技術
- (2)革新的光ファイバ技術
- (3)光波長ユーティリティ技術
- (4)光波長アクセス技術
- (5)広域加入者系光ネットワーク技術
- (6)ユニバーサルリンク技術
- (7)全光ネットワーク基盤技術
- (8)極限光ネットワークシステム技術

多様化するサービスやコンテンツに柔軟に対応し、エンドユーザ間で大容量通信ができる超高速フォトニックネットワークを低消費電力で実現するための要素技術を開発



施策名: 移動通信システムにおける周波数の高度利用に向けた要素技術の研究開発 【総務省】

平成22年度対象予算案: 3,683百万円
 (平成21年度対象予算: 3,578百万円)
 実施期間: 平成19~24年度

携帯電話のデータ通信量は飛躍的に増加しており、今後更に増加が予想されることから、現在の約千倍の伝送速度を実現する超高速移動通信システムや、最適なシステムへの切替えによる高信頼で効率的な移動通信システムの実現に向けた要素技術等の研究開発を行い、周波数の更なる有効利用を図る。

同一無線ネットワーク協調制御技術 異なる無線ネットワーク協調制御技術

